

## BLUE RED BLUE

2006 年 10 月 1 日発行  
 発行人：徳丸 公義  
 発行所：神戸市中央区海岸通 8  
 神港ビルヂング 5 階 509  
 TEL：078-393-0050  
 FAX：078-393-0051  
 E-Mail：[kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)  
 URL：<http://www.kobekeio.org/>  
 編集：堀 友子・八巻 晤郎

## ～～関西合同三田会報告～～

徳丸 公義 (昭 54 商)

2006 年度の関西合同三田会は、9 月 3 日に泉州慶應倶楽部の主催で岸和田の浪切ホールで開催された。

私は、家内 (由里 55 年文卒) と車を利用し、阪神高速道路湾岸線からの素晴らしい景色を楽しみながら自宅から 2 時間弱で現地に到着。当日は、だんじりの試験曳きがあるとのことで期待感一杯だ。

11 時に式典が開始され、銭高関西合同三田会会長、島田泉州慶應倶楽部会長の御挨拶の後、服部連合三田会会長の御祝辞そして安西塾長の記念講演となった。記念講演の要旨は次のとおりである。



1858 年に開設された慶應義塾は、いよいよ 2008 年に 150 周年を迎える。民間主導の世の中を実現するという福澤先生のかつての思いをかなえることが我々の務めであり、これを

150 年という大きな節の目標としたい。そのためには今後国際的に活躍できる人を育てていく必要があり、今後大学院等を 4 系統設置予定である。また、学部という枠を超えた福澤塾 (三田)、もう 1 系列の小・中・高の附属校の他革新的な教育の場、国際的ネットワークの場を設けたい。ハード面では、三田 (南校舎の建て替え、西後者の教育研究施設の強化) と日吉 (グランド施設の整備、コンサートホールの設置、国際公認プール等) の校舎の強化や言語に関する大学院の設置も構想中である。

さらに 2010 年には、収容人数を大幅に増加するため日吉の記念館や信濃町の病院建物を建て替えるとともに今後、世界的な大学の国際的競争への布石としてロンドン、北京、ニューヨーク等にジャパンソサエティ事務所開設することで国際的な情報の収集と留学生の支援を実現したい。なお、資金的にはこうした一連の施設の強化・充実に 900 億円が必要である。塾の年間の事業規模が 1,200 億円であることから 10 年という長いスパンで考えるのであれば決して

調達が不可能な数字ではないと考えるが、このうち 250 億円を皆様方からの募金でまかないたいとのことであった。

塾の記念すべき創立 150 周年に居わせることができる幸運をかみ締めながら、塾長の講演に皆じつと聞き入り塾への思いを新たにしたい。

その後懇親会に入り、美味なる料理を前にして飲みかつ食べそして語り合った。そうしていよいよ 300 年の伝統を誇るだんじりの試験曳きの始まりだ。

泉州慶應倶楽部のご尽力により我々は浪切ホールの 3 階の涼しいところから文字通り高みの見物を決め込む。当日は、本番ではないのにもかかわらず沿道を観衆が埋め尽くす。地元の人にとっては、お祭り騒ぎができるチャンスという意味では本番も練習も関係はないようだ。岸和田のだんじりは他の祭 (京都の祇園祭、飛騨の高山祭) の山車のように慎重に角を曲がるのではなく、重さ 4 トンを超えるだんじりを走らせながら直角に向きをかえる (「やりまわし」という) ところに特徴がある。祭りの間、だんじりは定められた曳行路を何周も何周も駆け巡り、曲がり角ごとに「やりまわし」を行う。1 台何と数億円! ? というだんじりには人が乗り、ひらりひらりと天井を移動する。だんじりの前後を囲む 100 人規模の引き手と押し手 (これで一組単位) が合図によりいっせいに駆け出し、交差点へ減速することなく突っ込んでいく! この「やりまわし」が一番の見せ場。大きく膨らむ組もあれば難なくクリアしていく組もあり、持ち前の技術を競っている。観客ははらはらしながら見つつも、何かを期待し途中でやぐらが道路沿いの構築物に触れると「わあー!」と大歓声上がる。その迫力とスピード! これが岸和田名物のだんじりの醍醐味だ。

数時間後その興奮冷めやらぬ中、岸和田城を見学して帰宅の途についた。



『人生の愉しみ』その三 ゴルフの話

五代 友和 (昭37商)

今やゴルフを楽しむ人は多い。

世界中のゴルフコースと名のつくところは、少し古いが一九九三年のデータで、アメリカ一八〇〇〇、イギリス二〇〇〇、日本一八〇〇、その他オーストラリア、カナダ、ヨーロッパ諸国等で二〇〇〇、合計三三八〇〇ヶ所とある。

十年余り経過した今、日本のゴルフ場は二四〇〇ヶ所と言われているからゴルフ新興国の中国まで入れるとかなりの数になっていることだろう。

この機会に少しゴルフの歴史をふり返ってみたい。十二世紀か十三世紀、正確には定かではないがゴルフの聖地と言われるスコットランドの「セント・アンドリウス」付近の牧童か、その近くのフォース湾の漁師達が、丸い形をした小石か又は木製のボールのようなものを作って、先の曲がった木製のスティックで打ち、離れた所の兔の穴に「少ない打数で入れた者が勝ち」という極めて単純な遊びが数百年の歴史を経て現在のゴルフになり、スポーツとして確率されたようだ。ゴルフの総本山、発祥の地、或いは聖地とも言われるその「セント・アンドリウス」

は一七五四年に創立された「ロイヤル・アンド・エンシエント・ゴルフクラブ」の本部で今日世界中のゴルフコースの基準が十八ホールとなつたのは、一七六四年にこのオールドコースをそれまでの二十二ホールから十八ホールに減らしたことに起因している。

実は私も一度この「セント・アンドリウス」

オールドコース」でプレイしたことがある。今から丁度二十年前の一九八六年四月初めのことで、リンクスつまり直訳すると「海岸の砂地帯」特有の四月に入っているにもかかわらず猛烈に冷たくて強い風に悩まされながらのラウンドだった。ところがなんと重い貸しクラブを使ってのラウンドなのに八十八のスコアでホールアウトし、一緒にプレイした当社と取引のある地元の会社の社長に「ナイスゴルフ」と絶賛されて大いに気をよくしたものである。このコースに関して私が鮮やかに記憶していることの一つは、十八ホールに対してグリーンが十一しかない。単独のグリーンは四ヶ所で七つのグリーンは二ホールの共同である。そしてそのグリーンは殆んど粘土質の土そのものの印象を受けたことだ。あと一つはロッカールームで二段になった古い木製のそれには曾ての名プレイヤーの名前が冠されていた。球聖ボビージョーンズにはじまりベンホーガン、サムスニード、アーノルドパーマー、ジャックニクラウス等々である。

そのゴルフが日本に入ってきたのは一九〇一年(明治三十四年)でご存知アーサーグルームが六甲山に作った四ホールの「神戸ゴルフ倶楽部」である。翌々年一九〇三年(明治三十六年)に九ホールになった我国第一号のゴルフクラブである。私がゴルフを始めたのは二十四・五才頃だから、かれこれ四十年以上前になるが、当時布引の山に「神戸カントリー」という一応

十八ホールだが殆んどがパー三の上り下りの激しいコースであった。無理な造成だったために一九六七年(昭和四十二年)の大雨による山崩れで多くの犠牲者を出してつぶれてしまった。

その後、仕事関係のつき合いや、先輩、後輩を問わず多くのゴルフ仲間とプレイして来たが、練習もろくにせず、おまけにあきらめの良い(?)ゴルフのため結局シングルプレイヤーになれなかった(今は下がる一方)が、ゴルフを通して得た多くの知己やスポーツとしてのマナーや我慢のことなど学ぶことも多々あった。

長い人生の中で強い記憶にあることの多くはつらかったことや苦しかったことだが、ゴルフに関してだけは百ヤードを残したパー五の池越え第三打が直接カップインしてイーグルを取ったことなど好いことだけなのは何故なんだろう。

が、なんといつても春や秋のさわやかな季節に緑の中を新鮮な空気を一杯吸って歩けることがゴルフの醍醐味かも知れない。ゴルフはよくその人の性格が出ると言われるが「又あの人と一緒にプレイをしたい」と思ってもらえるプレイヤーになりたいと心懸けている。



# 会員だより

## 《ババ連れ・ジャリ連れスイスツアー》

近藤 正 (昭39商)

マラソン好きの義理の姉から「スイスに行かない？」と誘われて、実の姉や娘も誘ったところ、二つ返事で乗ってきたので、7月中旬から10日余りスイスを旅行した。義姉は、ボストンマラソンに数回出場したり、サロマ湖100Kmマラソンを走破した猛者(猛女?)で、ユングフラウマラソン(今回は不参加)で得た土地勘を生かして、スイスの山々を案内してくれるというものだった。

一行は、実姉を最長老に、義姉とその息子・娘家族(ドイツより合流の10歳、7歳、1歳の子供連れ)、小生夫婦と娘家族(4歳、1歳の子供連れ)と義姉の友人2名(70歳)の総勢15名で、まさしく老若男女の大グループとなった。因みに平均年齢を計算すると、バーサマが多いのに38歳と若くなり、孫の貢献が大だった。

インターラーケンとツェルマットに各5泊、チューリッヒに1泊で計11泊したが、快晴続きで、

ロープウエイに乗ってのアルプスの名峰の数々、草原に広がる花畑、澄んだ湖、雄大な氷河…などスケールの大きい風景を満喫した。特に、湖面に逆さに映るマッターホルンや、苦勞して見つけたエーデルワイスは感激だった。スイスは物価が高いので、ロッジ風のホテルに泊まり、日本から持参のお米や麺類で自炊した。おかげで節約できたし、みんなでビールやワインを飲みながらのワイワイガヤガヤはとても楽しい思い出となった。地元料理のワイン入りのチーズフォンデューは、高いだけで格別うまいとは思わなかった。74歳の姉と1歳半の孫の体調が一番気になったが、最後まで元気だったので、関空に着いた時はホッとした。孫は2歳以下なので、航空運賃は大人の1割で済んだが、訳のわからぬままにひっぱりまわされて、いい迷惑だったのでは…。でも、家内と二人で旅行すると些細なことで喧嘩になるが、今回は孫のおかげでそのヒマも無かったのは幸いだった。



## 《秋の慶早ゴルフ対抗戦》

森本 泰暢 (昭60法)

9月7日(木曜日) 慶早ゴルフコンペが神戸ゴルフ倶楽部にて開催されました。

神戸早稲田倶楽部より木下会長をはじめ10名、当倶楽部からは13名が参加しました。小雨ではありませんでしたが楽しくプレーができ、ゴルフ場ロッジでの懇親会は、恒例の松茸のすき焼を囲みながら大いに盛り上がりました。

対抗競技は各倶楽部の上位7名によるネット合計で競われ、結果は神戸慶應倶楽部が僅差で勝利致しました。個人戦では神戸早稲田倶楽部の廣川雅英さんが、奥様の廣川守さんが欠席ということもあり、のびのびとしたプレーで優勝されました。2005年春の慶早ゴルフコンペでも奥様が欠席のときに優勝されており、慶應としては刺客として廣川夫人が参加することが、勝利への道と確信致しました。2位は芳川玲子さん、3位は鍛冶川玲子さん(鍛冶川清司夫人)が入賞されました。

参加者は以下の通りです。(敬称略)

広瀬 努・森本富夫・一宮弘忠・八巻晤郎・天木 明  
芳川玲子・鍛冶川清司・鍛冶川玲子・多木良晴・山上高弘  
延原耕三・山野昭彦・森本泰暢

## 《ワグネル男声合唱団の神戸公演》

浅沼 清之 (昭36経)

9月10日(日)14時より、神戸文化ホールにおいて、慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団の神戸公演が開催され、神戸慶應倶楽部からも、快く協力する為に、広瀬会長ご夫妻はじめ、多数の会員が参加して、重厚な響きのワグネルトーンを堪能しました。明治34年に、最も古い学生団体の一つとして発足したワグネル・ソサイエティーは、優れた先輩を多数輩出してきましたが、慶應義塾が、創立150周年を迎えるに当たって、さまざまな記念事業を展開している中で、ワグネルの神戸公演が実現したことは、意義深いと思います。公演旅行は、3年ほど前から再開されたそうですが、団員の皆さんにとっても、地方公演は得難い経験だと思いますし、いっそうの成長をもたらすに違いありません。普段は距離的に



交流の難しい、神戸女学院大学コーラス部の、賛助出演の協力を得たことも、ステージの中が広がり、私達を楽しませてくれました。今後、更なる飛躍を期待する次第です。

## 同好会だより

### イーゼル会

#### 《今月の絵》



西脇 良一 (昭30法)

### KKJC

#### ♪KKJC 発ペンマーク入り三色帽子♪大好評！

9/3の岸和田での関西合同三田会で早速ご披露しました。塾長からもお褒めの言葉を頂戴しました。



他三田会の方にも好評で、申込をされなかった方のために、追加を受け付けることになりました。

追加注文は10月31日まで、12月納品予定です。詳しくは BRB5月号同封またはメールマガジン Vo.1.83 に添付のチラシをご覧ください。

チラシは倶楽部にご請求くださればお送りします。

### ♪Remembering Sho-Chan Live in Left Alone♪

一宮 弘忠 (昭39法)

9月22日 KKJC 関連の方々総勢18名とライブに行ってきました。8時前に開演。アンコール演奏も含め11時半まで、熱演熱唱でした。

往年の「与田輝雄」さんのそっくりさんの中村誠一さんと「乗り」の宮 哲之さんの TS。小川理子ちゃんの「I've Got the World on a String」の歌。あまり取り上げる人のいない懐かしい曲は、ゴスペルとともに深く印象に残りました。

彼女のピアノを聞くのは、三回目ですが、段々とスベラなくなりダイナミックに表現するようになって日々進歩していることは嬉しい限りです。最後の珍しいベース二本の競演は、圧巻でした。ようやく秋らしくなってきた夜の、素晴らしいリメンバー・ライブでした。

### ♪10月20～22 秋のジャズ&ゴルフツアー♪

三重県鳥羽「エクシブ鳥羽」にて、2晩続きのライブ、21日には鍋島先輩、理子ちゃんとのゴルフも予定しています。(賢島カントリークラブ)

ツアーはまだ若干の余裕がありますので、近藤正 (090-8446-9382 [ludy@oak.ocn.ne.jp](mailto:ludy@oak.ocn.ne.jp)) までお問い合わせください。

### ゴルフ同好会

#### 《KLA とのジョイントコンペのご案内》

10月13日(金) 芦屋カンツリー倶楽部

KLA (関西婦人三田会) との秋の懇親ゴルフコンペを開催いたします。申込は締め切りしました。

詳細については、幹事までお問い合わせください。

競技結果ならびに懇親会の模様は次号の BRB にてお知らせいたします。

世話人：近藤 正 (昭39商)

### 囲碁同好会

例会日は第1金曜日、倶楽部ルームで開催です。他三田会との交流囲碁会も行っていますので、ぜひ一度覗いてみてください。

菊田 義正 (昭42商) [kikuta44@d3.dion.ne.jp](mailto:kikuta44@d3.dion.ne.jp)

## 会長メッセージ

神戸慶應倶楽部会長 広瀬 努

### 『三田会の役割』

会長に就任してまもなく神戸で塾生家族懇談会に出席し神戸慶應倶楽部の活動状況を報告させていただきました。当日は150名ほどの父兄がこられ、慶應義塾から精神、目的、150周年事業など多くの説明がありましたが、社中と塾員同士の強い絆を象徴する三田会について詳細に述べられたのが印象に残りました。このたび三田会の役割の一部を実感したのは9月10日の現役のワグネルソサエテイ男声合唱団のお世話でした。北九州、神戸そして奈良への公演旅行での宿泊とチケット販売などの協力でしたが、それぞれの地域の三田会とワグネル三田会が支援し会員の皆様のおかげで無事終えることができました。カレッジソングに感動された方も多かったと思います。レセプションで現役と一緒に歌った「丘の上」には感激しました。

今後も慶應義塾に対するいろいろな支援があると思いますができる範囲で協力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

去に海外で寿司職人をしていた人、社長兼高校の先生等々…本当に、よくこんな娘を相手に話してくださるなど感じ、日々感謝の連続です。これは営業の醍醐味ですね！勉強して、少しでもお役に立てる人にならなければと思っています。

私は精神論について書いた本が好きで、よく読みます。本の影響力は絶大です。心の持ちようが変わります。人との出会いに偶然はなく、人生全てが必然、必要、ベストなのだと思うようになりました。そう思うことで、いつも穏やかでいられるようになります。

営業は毎日数字、順位が出ます。数字が出来ていれば良く、出来なければ悪いという単純明快な評価。そんな中でもあせらず、マイペースに出来るのはそのおかげなのかもしれません。ただ、仕事は目標をもってやっています。また、そうすべきだと思っています。

近況はこんな感じです。仕事のことばかりになってしまいましたね…プライベートもそれなりに頑張っています(^\_^;)

神戸慶應倶楽部の皆様には優しく迎えていただいて本当に感謝しています。今後ともよろしくお願いたします。

**このコーナー、は新しく入会された方の自己紹介やご無沙汰会員の近況報告等を紹介する交流広場です。**

**普段、会の行事に出席できない方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。**  
(編集部)

## 会員の輪

### 《近況報告》

宮川 侑子 (平18商)

いつの間にか朝晩が涼しくなりました。季節の移り変わりを感じます。カレンダーを見ると、入社して半年が経とうとしているのが分かるのですが、時間が経つのが早すぎて、あまり実感がありません。年をおうごとに、そして忙しく動き回るにつれ、時間が塊になって流れていくようです。時間は平等に与えられているといいますが、本当にそうなのでしょうか。

社会人になり、営業を始めて約4ヶ月になります。その間様々な素敵な出会いがありました。神戸慶應倶楽部の皆様、起業したばかりの社長、過

## ちょっと一言

高嶋 哲夫 (昭48工)

◎9月19日に「アニマート」(集英社)第2巻を発行しました。よろしくお願いいたします。

◎「命の遺伝子」が文庫化されます。単行本の時からタイトルを何にしようかと悩んでいます。「ダビンチ・コード」みたいなカッコいい名前ないですかね？いいのがあれば教えてください。

～～10月例会のお知らせ～～

10月20日(金) 18:30より 倶楽部ルーム  
(会費:2000円)

講師: 浜野 潔氏 関西大学経済学部教授  
(昭和56年経済学部卒)

テーマ: 「歴史から見た人口減少社会」

講師プロフィール(経歴)

- 1958年 東京都町田市生まれ (慶應高校卒)
- 1981年 慶應義塾大学経済学部卒
- 1986年 アメリカ政府留学生としてハワイ大学へ留学(社会学修士)  
帰国後、慶應女子高教諭、  
京都学園大学経済学部教授などを経て
- 2002年 関西大学経済学部教授  
現在に至る

～～事務局よりお願い～～

- ◎ 例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、お申し込み後に連絡なしで当日欠席された場合はキャンセル料を頂くことがございますのでご注意ください。
- ◎ 住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、その都度必ず事務局にお知らせください。

会員の皆さままどしどし原稿をお寄せください。  
「BRB」についてのご意見、ご感想もお聞かせください。  
堀 友子 [tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp](mailto:tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp)  
八巻晤郎 [yamaki@1965.jukuin.keio.ac.jp](mailto:yamaki@1965.jukuin.keio.ac.jp)

～～今後の行事予定～～

- 10月13日(金) KLA交流コンパ 芦屋カンツリー倶楽部
  - 10月15日(日) 連合三田会 日吉
  - 10月20日(金) 例会 倶楽部ルーム
  - 11月17日(金) 例会 倶楽部ルーム
  - 12月9日(土) 家族例会 ポートピアホテル
  - 2007年1月5日(金) 賀詞交歓会 倶楽部ルーム
  - 1月10日(水) 福澤先生誕生記念会 大阪
  - 1月12日(金) 関西不動産三田会合同例会 西村屋
  - 2月14日(水) 例会「にぎり酒を楽しむ会」 場所未定
  - 3月14日(水) 例会 東天閣
- ◎詳細につきましては、BRB・メールマガジン等でお知らせいたしますので、毎月ご確認ください。  
◎同好会の日程につきましては、各世話人にお問い合わせ下さい。

編集後記

○すっかり秋めいて季節の移ろいを感じる今日この頃。なんて感傷に浸る間もなく、すぐに1ヶ月が経ってしまいます。今月も何とかまとまりました。やりたい事あり過ぎて時間が足りません。欲張りなんではないでしょうか?でも仲間には由しないから楽しいことばかり。  
○岸和田のだんじり祭り、祭日の中継を見ていると試験曳きの時の興奮がよみがえり例年になくハイな気分でのテレビ見物となりました。十月の播州路はだんじり御輿を担いでのけんか祭り、こちらもまた勇壮な男の祭りです。  
近藤さんのスイス旅行、マッターホルンを背景にババ・ジャリ軍団の真ん中にでーんと鎮座する二匹のセントバーナード、こんなのを連れて歩けたらどこでも怖いものなしですね。(晤)